

2020 年度動物由来感染症（人獣共通感染症）講習会の WEB 開催について

国立国際医療研究センター国際感染症センターでは、主に医師などの医療関係者向けの動物由来感染症（人獣共通感染症）に関する講習会を実施しています。例年は対面による講習会でしたが、今年度はオンラインでの開催となっており、どなたでも受講することが可能となっています。獣医療分野の皆様にも有用な情報が非常に多いことから、お知らせしたいと思います。なお、受講は国立国際医療研究センター AMR 臨床リファレンスセンターの e-learning のサイトからどなたでもできます (<https://amrlearning.ncgm.go.jp/moodle/>)。今年度は以下の 14 のテーマについて、1 回約 30 分程度となっており、アカウントを作成すればオンラインで学べます。なお、視聴は 2021 年 3 月 31 日までです。お早めに受講をお願いします。



Call us: E-mail: amrlearning@hosp.ncgm.go.jp

Home ▶ 動物由来感染症

あなたの進捗 ⑦

- | | |
|--|--------------------------|
|  1. 動物由来感染症（酪農学園大学動物養育研究センター 田村豊） | ☐ |
| 動物由来感染症の総論について田村先生にご解説いただきました。 | |
|  2. 耐性菌とワンヘルス（国立国際医療研究センターAMR臨床リファレンスセンター 日馬由貴） | ☐ |
| 動物由来感染症と言えばワンヘルス、耐性菌もワンヘルス。 | |
|  3. 中東呼吸器症候群（MERS）（成田赤十字病院感染症科 馳亮太） | ☐ |
| COVID-19と同じコロナウィルスの動物由来感染症であるMERSについての講義です。 | |
|  4. 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（山口県立総合医療センター血液内科 高橋徹） | ☐ |
| 日本で最初にSFTSを診断された高橋先生によるご講義です。 | |
|  5. ダニ媒介性脳炎（長崎大学感染症共同研究拠点研究部門 好井健太郎） | ☐ |
| 北海道でも症例が発生しているダニ媒介性脳炎についての講義です。 | |
|  6. 殺虫剤・忌避剤の使用（アース製薬） | ☐ |
| 虫除けの正しい使い方について、アース製薬にご解説いただきました。 | |
|  7. トキソプラズマ症（国立感染症研究所寄生動物部 永宗喜三郎） | ☐ |
| トキソプラズマ症は国内でも重要な動物由来感染症の一つです。 | |
|  8. 黄熱（国立国際医療研究センター国際感染症センター 氏家無限） | ☐ |
| 黄熱は現在もアフリカや南米で流行している蚊媒介感染症です。 | |
|  9. コリネバクテリウム・ウルセランス感染症（国立感染症研究所安全実験管理部・細菌第二部 岩城正昭） | ☐ |
| コリネバクテリウム・ウルセランス感染症はジフテリアに似た動物由来感染症です。 | |
|  10. 日本脳炎（国立感染症研究所感染症疫学センター 新井智） | ☐ |
| 日本脳炎はワクチンによって症例が減っているものの今も国内で流行している感染症です。 | |
|  11. ペスト（国立感染症研究所細菌第一部 石原朋子） | ☐ |
| ペストは人類感染症であり、海外では今も発生しています。 | |
|  12. 感染症を媒介する節足動物：蚊（国立感染症研究所昆虫医学部 葛西真治） | ☐ |
| 動物由来感染症を媒介する蚊の生態についてご解説いただきました。 | |
|  13. リケッチア症（福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座 山藤栄一郎） | ☐ |
| 日本で最も多い動物由来感染症であるリケッチア症についてご解説いただきました。 | |
|  14. エソウイルス（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 松野啓太） | ☐ |
| 北海道で新たに発見されたエソウイルスについてご解説いただきました。 | |